

川口市立医療センター広報紙

はな みず き 花水木

特集

2022.3.1 Vol.54

小児外科の紹介



川口市立医療センター「みみたーズ」
イメージキャラクター
“よく聞き・よく診て・よく説明する”

基本理念

市民に信頼され、
安全で質の高い医療を提供します

総合健診センターで新型コロナウイルス 感染症抗体検査を行っています

当センターでは、新型コロナウイルス感染症に不安をお持ちの方のために、抗体検査を行っています。ワクチン接種済で、抗体の有無を調べたい方や過去の感染歴を調べたい方は、お気軽にお問い合わせください。

◆対象年齢 12歳以上(18歳未満は保護者同伴が必要)

◆場 所 総合健診センター(地下1階)

◆検査方法等

	人間ドックと同時検査	単独の抗体検査
予約方法	事前電話予約 048-280-1539(直通) (人間ドック受診者は、健診当日の申込み可)	
予約受付時間	●月～金曜日：9:00～16:30 ●第1・3・5土曜日：9:00～12:15 (第2・4土曜日、日曜日、祝日、年末年始は除く)	
料 金 (税込)	4,400円 (全額個人負担)	6,600円 (全額個人負担)
実施日時	月・水・金曜日 8:00～	●月・水・金曜日 11:00～ ●火・木曜 14:00～
検査方法	採血検査	
結果報告 (郵送)	健診結果報告書に記載 (受診日から3週間以内)	抗体検査結果書に記載 (検査日から10日以内)

◆注意していただくこと

- ・現在感染しているかどうかを判断する検査ではありません。
- ・発熱、咳、のどの痛み、倦怠感などの風邪症状がみられるかたは、検査の中止または延期にさせていただきます。
- ・抗体が陽性であっても、今後感染しないことを保証するものではありません。



当センターのホームページもご覧ください。

小児外科の紹介

小児外科医師 原田 篤

小児外科は、主に手術が必要となる子どもの疾患を診療する科です。産まれてすぐの新生児から15歳以下を対象としており、疾患によっては10年以上経過を見させていただくこともあります。お子さんの成長・発達に合わせた丁寧な診療を心がけています。



近隣地域で唯一、小児外科専門医が常駐

当院の小児外科は日本小児外科学会の教育関連施設Aに認定されています。川口市、蕨市、戸田市、草加市など近隣の地域の中で唯一の小児外科専門医が常駐している認定施設のため、安心して入院や長期のフォローアップが可能です。2021年は、203例の手術症例と13例の新生児外科疾患を診療し、全例で小児外科専門医・指導医の執刀または指導下で行いました。

対象疾患は、鼠径ヘルニア、陰嚢水腫、停留精巣、虫垂炎などの一般的な病気から、鎖肛、ヒルシュスブルング病、先天性腸閉鎖、胆道閉鎖症など生まれてすぐに手術が必要な先天性の稀少な病気、さらに包茎、精巣捻転、腎孟尿管移行部狭窄による水腎症、膀胱尿管逆流症(VUR)、尿膜管遺残症などの小児泌尿器疾患まで幅広く治療を行っています。小児科と連携し、重症心身障害児に対する胃瘻造設や腹腔鏡下噴門形成術や気管切開や喉頭気管分離術などに関しても担当させていただいている。

また、手術以外でも慢性便秘に対する排便管理、肛門周囲膿瘍の処置や漢方治療、臍ヘルニアの圧迫療法、血便などに対する上下部消化器内視鏡などの検査に関しても適宜対応していますので、お困りのことがあればいつでもご相談ください。

外来・手術

初診外来は月曜日の午前中、再診外来は月・水・金曜日の午後・第1、3、5土曜日の午前中に行ってています。手術は木・金曜日に実施しています。救急での診療が必要な場合は、各医療機関から当院の地域連携担当を通してご連絡いただくことで対応が可能です。

手術の在院日数は鼠径ヘルニア・臍ヘルニア・停留精巣などの小手術は2泊3日(年長児は1泊2日も相談)、虫垂炎は5日間程度となります。原則6歳以下であれば保護者の付き添い入院が可能です。

低侵襲手術(経臍手術、内視鏡外科手術)

当院での手術は、できるだけ低侵襲かつ安全に行うことを中心としています。急性虫垂炎の手術は経臍のみの傷での単孔式手術で行っており、写真のように術後の創部は綺麗に治ります。

鼠径ヘルニアに関して多くの症例で単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術(SILPEC)での手術を行っています。小児の鼠径ヘルニアは、症状がある側と逆側(対側)にも発症するリスクが10-20%あるといわれています。本術式では、腹腔鏡で観察して両側の鼠径ヘルニアが指摘される場合は同時に手術が可能です。手術の傷は臍と鼠径部の1-2mmの針穴の傷なので、ほとんど目立たなくなる小さな傷で治すことが可能です。

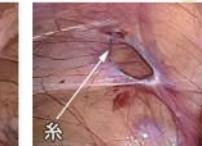
新生児の外科疾患(ヒルシュスブルング病、鎖肛に対する人工肛門造設、先天性消化管閉鎖、肥厚性幽門狭窄症など)に関しても経臍の最小限の傷で行っており、低侵襲手術で安全な手術を心がけています。



単孔式腹腔鏡下虫垂炎術後の創部
全例経臍で施行しています



先天性十二指腸閉鎖症術後の創部
腸回転異常症、腸閉鎖症、ヒルシュスブルング病、肥厚性幽門狭窄症など多くの新生児症例において経臍での手術で根治術を行っています



SILPEC: 単孔式腹腔鏡下鼠径ヘルニアの術式

創部が臍と鼠径部の針穴のみなので、術後傷がほとんどわからなくなります。臍ヘルニア合併の場合は併せて根治可能です

新生児外科疾患 -Prenatal Visit-

当院の新生児集中治療科や産婦人科(産科領域)とも連携し、超音波やMRIで胎児診断のついた先天性の外科的治療が必要な疾患(CPAM、鎖肛、腹壁破裂、臍帯ヘルニア、消化管閉鎖、横隔膜ヘルニアなど)で生後すぐに手術が必要な症例については、ご希望があればprenatal visitという形で出生前に疾患の説明をさせていただいております。ご両親やご家族の不安が少しでも軽減されるような説明を心がけています。

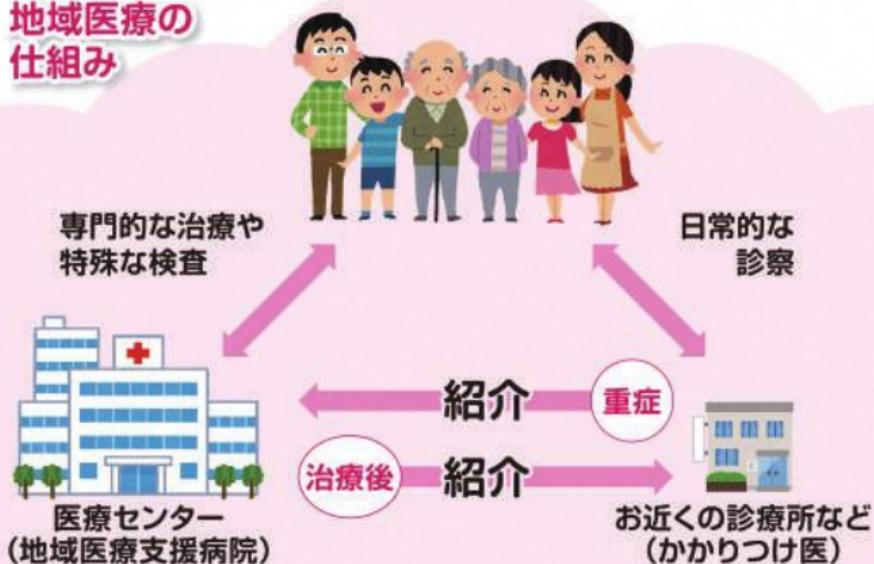
小児泌尿器疾患

小児泌尿器分野は、停留精巣、包茎、膀胱尿管逆流症(VUR)、水腎症などの疾患に関して手術を行います。

VURに関しては、乳児や学童期のお子さんの尿路感染症の原因として多く認められ、重症の場合は手術が必要になります。当院では膀胱を開放して手術を行う膀胱尿管新吻合術に加え、膀胱鏡を用いて行うデフラックス[®]注入術という低侵襲手術を取り入れています。デフラックス[®]はヒアルロン酸ナトリウムとデキストラノマーが混ざった薬剤で、膀胱と尿管のつなぎ目に注入して逆流を防ぎ、体表に傷をつけずに治療することができます。

膀胱鏡を用いた処置・手術に加え、4歳以上でも改善しない場合には、膀胱内に5mm程度の小さな傷からカメラを挿入して膀胱と尿管を吻合する気膀胱手術も取り入れています。小児泌尿器科学会認定医の指導のもと安全な手術を行い、必要時は長期的なフォローアップもさせていただきます。

地域医療の仕組み



バス案内 (国際興業バス)

川口駅東口(8番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行
西川口駅東口(1番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行

蕨駅東口(1番)発
川口市立医療センター経由 新井宿駅行
赤羽駅東口(6番)発
新井宿駅経由 川口市立医療センター行

循環バス(川口市コミュニティバス)
みんななかまバス

埼玉高速鉄道をご利用の方は
埼玉高速鉄道 新井宿駅から徒歩10分

駐車場のご案内

駐車料金 4時間まで200円(その後1時間ごとに100円)
総合受付の「5」会計受付にてパーキング カードを販売しております。
(1,000円券・3,000円券)

駐車台数 約600台収容



発行責任者 川口市立医療センター 大塚 正彦
編集 広報委員会
〒333-0833 川口市西新井宿180 ☎048-287-2525(代表)